

第5回任意会報告

10月28日(金)に行いました第5回任意会の報告をいたします。

今回は組織としての青調会のあり方について、新人会員を増やし、参加者を増やしていく中で滞納者やなかなか参加していただけない会員へのアプローチについて話し合いました。

その中で意見として出されたものを列記していきます。

- ・新人は基本的に青調会のことを知らないので広報や勧誘の工夫が必要
 - ・気軽に参加できる環境があればよいのではないか。
 - ・参加 = 入会を強制される感じがしそうなので、参加のみでも良いことを強調するのはどうか
 - ・目玉企画を上げて、会員以外にも広く参加を募るのはどうか
 - ・新人の登録時や新人研修の際に入会案内を配布するのはどうか
(他の書類に埋もれる可能性もあるので、工夫も必要ではとの意見もあり)
 - ・青調会として新人研修の講師を志願して研修の際に広報、勧誘を行うのはどうか
 - ・登録が若い未入会の人に勧誘の書類を送付するのはどうか
 - ・研修や親睦について気楽に意見を吸い上げる仕組みを作るのはどうか
-
- ・賛助会員である意義をもっと深く考えてもらい、正会員の人数確保だけが念頭にある賛助会員についての会則変更は反対である
 - ・滞納による除籍を会則に明文化しなくても執行部で手分けして直接滞納者と話ができれば、青調会に対しての係わり方を確認でき、滞納者の解消や参加者の増加に繋がるのではないか
 - ・会計年度の変更について、現状と会計年度を変更した場合の事務負担の検討を行い、現状のままでも充分である
 - ・会則変更については上記の検討結果を踏まえて会則変更は行わないとの結論に至りました

以上のような内容でした。

また、別に意見がございましたら、坂本宛でも述べていただくと幸いです。

よろしくお願いいたします。